街角とあなたをネットする暮らしと文化の情報紙

まちかど

●荏原第一地域新聞●

第177号
平成29年(2017)12月発行
発行・事務局
◎荏原第一地域センター◎
小山3-22-3（〒142-0062）
TEL 3786-2000
FAX 3786-5385

宿泊研修会開催
～荏原第一連合町会～

荏原第一連合町会による宿泊研修会が、11月12日から1泊2日の行程で静岡県で行われました。

この研修会は、各町会長や町会員が参加して親睦を深めると共に、区外視察を通して、今後の地域活性化に役立てようと毎年実施されています。

今年の研修会では、ロダンの彫刻を展示している静岡県立美術館や、地元の新鮮な魚介類も堪能しました。また、宿泊先では、駿河湾が目の前に広がる焼津市の温泉に浸かって、皆が日ごろの疲れを癒しました。

今年は、総勢44名が参加して無事に終了しました。参加された皆様、お疲れ様でした。

参加者全員で記念写真

人工芝で防災運動会
荏原第一地区委員会

秋の企画「楽しく学ぼう！親子で防災フェスティバル」が、11月11日（土）に小山小学校の校庭で開催されました。

当日は、寒さを吹き飛ばすほど元気な子どもたちと保護者、総勢32名が参加しました。

企画では、防災にちなむ5つの種目を行いました。このうち、担架リレーでは、竹馬とTシャツで作成した担架にボールを乗せ、二人一組になってコースを走ります。ただ走るだけではなく、ボールを負傷者に見立てて落とさないように慎重に走るなど、防災の意識を持ちながら競技を行う姿が垣間見えました。

今回学んだことを少しでも覚えて役立ててもらえたら、地区委員さんたちは大喜びです。また一緒に楽しく学んで遊ぼうね！

（事務局）

担架リレーに挑戦！

ふれあい健康塾
あわせ俳句で脳トレを

去る10月11日(水)、荏原第一地域センターにおいて、「ふれあい健康塾」の定例会が開かれました。

いつものように健康ストレッチでほどよく体をほぐしたあと、「あわせ俳句」を作って楽しみました。

俳句のテーマは「秋」。まず、3つのグループに分かれて、上五、中七、下五を作るテーブルを決めます。各テーブル毎に、それぞれが秋にふさわしい言葉を句箋に書き出し、最後に、組合わせを考えながら一句に仕立てていきます。

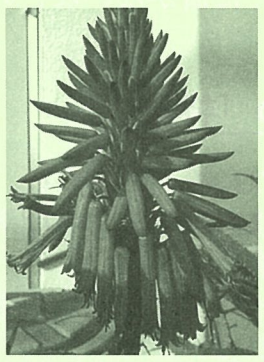
沢山の俳句ができあがりました。当日の高点句をご紹介します。

・ウォーキング　林試の森へ　紅葉狩り
・栗ごはん　夢からさめて　ひとりじめ
・鈴虫や　いざよいの月　雲がくれ
・松茸の　香り楽しむ　土瓶むし

皆様も一緒に俳句を作ってみませんか？

（荏原第一地区健康づくり推進委員会・吉田　久美子）

花めぐり
アロエ


荏原4丁目付近のアロエの花

アロエは「医者いらず」などと言われ、少し前まではどこの家にも一鉢はあったような気がします。

最近はあまり目にしませんが、アロエは、民間療法の万能薬として重宝され、約3500年前のエジプト時代の医学書に、眼病・胃腸病・防腐剤の処方があり、ローマ時代には、健胃剤、便秘薬として用いられたとのこと。

中国や日本にもアロエが伝わり、民間薬、漢方薬として多彩で素晴らしい効果を持つアロエ。種類も世界で500種類もあり、日本でも180種類あるとのことです。

一般的には、キダチアロエ（苦味あり）、アロエベラ（ゼリー状でヨーグルトに入っている）、沖縄の不夜城（苦味はなく化粧水などに使用）があります。

多年草で、秋に蕾ができ、冬になると下から順にオレンジ色の花が咲きだし、長いこと咲いてくれます。鉢植えより、地植えの方が早く花はつきやすいようです。原産はアフリカ、花言葉は「健康」、「万能」、「迷信」。

（小山2丁目東部町会・山内　静子）

◎シリーズ◎ 駅前再開発
⑨ぬくもりを感じる武蔵小山
～創業110年・「㈱東京堂」～

▼「東京堂」の歴史

武蔵小山商店街で、メガネ・時計・ジュエリー製品を扱う創業110年の「東京堂」。創業者は、大井町の伊藤博文別邸のホールクロックの修理を任される時計職人として技術を磨き、店はその確かな技術とともに今日までその歴史を刻んできました。昭和30年代頃は、仕入れが間に合わないほど飛ぶように時計が売れ、住み込みの時計修理職人や店員たちと共に、毎日大勢のお客さんで賑わう武蔵小山商店街を支えてきました。両親から20年ほど前に経営のバトンを渡された、3代目・島村篤子社長に、子どもの頃の商店街の思い出や再開発への思いを伺いました。

▼3代目の武蔵小山の思い出

島村社長に「子どもの頃の武蔵小山商店街の思い出は？」と聞くと、「映画館。初めて見た映画が『白蛇伝』だったのよ」と、その時の興奮を話してくださいました。当時商店街には、新作を上映する封切館が3館ありました。特に週末は、映画を見るために武蔵小山へと足を運ぶ人たちでも賑わっていました。そして、豊富な店の数々。生地、紳士服、靴に下駄、甘味にせんべい、おもちゃ屋と、「今は種類が限定されているけど、子どもの頃は何でも揃う商店街。人が遊びにやって来る場所でした」と、当時の賑わいを懐かしく語ってくださいました。

▼再開発への思いは・・・

駅前の再開発が進み、長年見つめてきた武蔵小山がどんな街へと変わっていくのか。島村社長は、「予測がつかないけど、一味違った再開発になってくれればと思います。武蔵小杉とも違う、昭和の人のぬくもりが感じられるようなムサコであって欲しい」と、率直な気持ちを話してくださいました。また、島村社長は、武蔵小山の地盤の強さにも触れ、東日本大震災時には店の時計は何一つ落下しなかったことから、「安心して住める街」ということを再認識されたそうです。

時代が変わっても、住みやすい街であり、帰ってきてホッとする街として、武蔵小山の原点である「ぬくもり」が受け継がれていくような再開発を願う、地域の思いを感じたインタビューでした。

（事務局）

老舗にふさわしい落ち着いた店内

訃報

荏原第一連合町会常任理事・小山2丁目東部町会会長の齋藤吉憲様（享年86歳）が、平成29年12月1日に逝去されました。

ここに謹んで哀悼の意を表し、ご冥福をお祈りいたします。

なお、通夜は12月10日に、告別式は11日に桐ケ谷斎場にて執り行われました。

街角ウォッチング
～資源集団回収～
（小山3丁目町会・荏原2丁目町会）

小山3丁目町会と荏原2丁目町会では、家庭から出る資源の集団回収を始めました。

古紙だけでなく、古着のように捨てるのはちょっともったいないと思う物もリサイクルになって、回収量に応じて報奨金が出るので、町会にとっても有効活用ができます。年々、町会員数が減少しているので、この集団回収にご協力いただけると町会としても助かります。また、区としても「資源の日」の回収量が減り、回収車輌を減らすことができるため、経費削減ができます。

★回収日：毎週火曜日
※古着・古布等は、小山3丁目は第1火曜日に、荏原2丁目は第3火曜日に回収

★回収場所：資源を出す場所と同じ場所
※当日の午前8時までに出してください

★回収する紙類：
①【新聞・折込みチラシ】→ひもでしばる
②【雑誌・書籍】→ひもでしばるか紙袋に入れる
③【段ボール】→折りたたんで束ねる
④【紙パック】→すすいで開いて乾かす
⑤【紙箱・雑がみ】→菓子箱等は折りたたんで束ねる
※いずれもまとめてひもでしばるか、紙袋に入れてお出しください。

町会の皆さんも、ちょっと集めておいて、火曜日に出せる物は、この集団回収に協力いただければと思います。

（小山3丁目町会・柿沼　恵子、荏原2丁目町会・伊藤　茂実）

古紙は毎週火曜日回収

◎各ご家庭に配布しております。一部ずつお取り下さい。次号『まちかど』は1月22日（月）発行の予定です。

「まちかど」は、品川区役所ホームページからもご覧いただけます。　http://www.city.shinagawa/tokyo.jp/

古紙を配合した紙を利用しています。